

特別講義のお知らせ

講師 **オリガ・T・ヨコヤマ**博士 (UCLA教授)
Professor Olga T. Yokoyama

構造主義以後の言語学と文学作品の分析

“Linguistics after Structuralism and Literary Analysis”
(ザミャーチンの「洪水」「われら」に即して)

日時 **2012年5月25日(金)** 午後2時50分～4時30分

場所 東京大学文学部(本郷キャンパス)3号館7階 スラヴ文学演習室

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

交通：地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷3丁目」、南北線「東大前」などから徒歩10分

- * 文学作品の分析に言語学がどのように適用できるかという基本的な問題を、ザミャーチンの作品に即して論じていただきます。講義は日本語、通訳なし。ただし、質疑応答・討論は英語、ロシア語でも可。
- * 具体的なテキストとしてはザミャーチンの<<Наводнение>>と<<Мы>>を取り上げますので、事前にロシア語で読んでくることを強く勧めます。
- * スラヴ語スラヴ文学大学院演習(担当：沼野充義)の一環として行われる特別講義ですが、専門的関心をお持ちの方のご来聴を歓迎します。
- * 終了後、文学部3号館8階スラヴ文学研究室で、一時間ほど懇話の席を設けますので、個人的な研究上の相談も可能です。

講師プロフィール

Olga T. Yokoyama博士(元ハーヴァード大学スラヴ科教授、現在カリフォルニア大学ロサンゼルス校応用言語学部教授)は、ロシア語を中心としたスラヴ言語学、スラヴ文化研究、一般言語学の様々な領域で国際的に活躍するスラヴ言語学者です。現在、京都大学大学院文学研究科客員教授として日本滞在、東京大学でも特別講演をしていただけたことになりました。ヨコヤマ博士のプロフィールについては、UCLAの以下のウェブページをご参照ください。

http://www.appling.ucla.edu/index.php?option=com_content&task=view&id=111&Itemid=1

問い合わせ先：東京大学文学部スラヴ文学研究室03-5841-3847または現代文芸論研究室03-5841-7955